

全国商工業研究集会に参加して

9月2日(土) 3日(日)の2日間、愛知県豊橋市で行われた全国交流・研究集会に工藤会長、西尾専務理事、吉田局長、布施局員の4人が参加しました。

事務局 吉田

今回の交流会は、「中小商工業と地域の力で、幸せで公正な社会を」テーマとして開催されました。その中身は、政府が進めようとしているTPPやカジノを含めたIRリゾート施設の開発など、新自由主義・市場原理主義に對抗し、中小商工業者と地域の力で地域経済の循環を発展させていこうというものです。

最初に「カジノな経済は地域社会を救うのか」静岡大学右教授の鳥畑与一さんの講演があり、ここで皆さんにもお伝えしたいのは、国や自治体はIRで海外からの観光客を呼び込むことができるから経済が好転すると言っていますが、外資系カジノ産業が狙っているのは、「日本国民の懐」であるということ。国民がカジノで使うお金は本来地域で消費に回るはずのお金であり、地域経済はますます疲弊してしまうことです。また、海外からの観光客はここ5年くらいはどんどん増えていて、日本の風土や文化、景観が十分に観光資源になっていることです。こうしたことだけ見ても、安倍政権は大企業にだけ顔を向けた政治を行っているのだということがはっきりしているなと思います。

2日目は商店街と地域商業の課題という分科会に参加しました。一番印象に残ったのは、岡崎市のまちゼミの会の松井さんのお話でした。各商店主が自分の商売のことに限らず、趣味のことなどなんでも自店で地域の人に5人くらい集まってもらってゼミを行うものです。ここでは絶対商品を売りつけない、店主自らの人柄や魅力を知ってもらい、また来ようと思ってもらうことを大切にしているというものでした。大型店にはない、商店の一番の商品は店主そのもの、コミュニケーションを大事にすることで顧客も心を掴んでいて、まさに地域経済の担い手はこうした商店なんだなと思いました。

事務局 布施

第2分科会「地域建設業の課題と仕事おこし」に参加しました。建設業の地産地消、リフォーム助成制度、商店工場リニューアル助成制度、建設業の担い手の育成、災害時の地元建設業者の貢献などが課題として報告がありました。先日にも神戸の勉強会に参加して、感じていましたが、国土交通省の所管で進められてきた建設業の振興が他の産業と全く違うことに驚きます。特に方向が変わってはいませんが、つい最近まで建設事業者が過多であるとして競争原理に任せて減少させる政策が取られてきたというのには驚きました。社会保険などの強制加入など問題もありま

すが、担い手の育成に舵が切り替えられた建設業の振興政策を学びとらないとこれからの地域の建設業の振興は考えられないと感じました。また大手のハウスメーカーや、リフォームでさえ他業種大手の参入で地元業者が元請になれない実態が報告され、地域の仕事を地域の建設業者が請け負う機会を作るリフォーム助成制度、小規模修繕工事希望者登録制度など創設された地域で喜ばれている報告もあり、これらの制度の必要性を実感しました。



伝言板

よついで祭り

9月17日(日) 朝10時〜昼3時30分 千里南公園
メインとなる舞台では吹田で活動している団体などによるダンスやバンド、太鼓など多彩な催しが行われます。民商は、円形広場で業者広場として模擬店やイベントを行います。皆さん、遊びに来てください。

無料法律相談

9月21日(木) 昼1時 民商会館
北大阪総合法律事務所 弁護士が相談に応じます。事前の予約が必要です。

消費税増税中止、署名・宣伝行動

9月22日(金) 夕5時〜6時 穂波町スーパーライブ前
少しの時間でも一緒に署名を集めたり、ビラを配りに来てください。

起業家交流会 at 江坂

9月26日(火) 夜6時30分〜8時30分
新大阪江坂東急REIホテル

9月22日までに所定の用紙を市役所、地域経済振興室へ提出してください。申し込み用紙は民商にもありますのでお問い合わせ下さい。

会費集金は会員の心をあじめる活動です 毎月10日までには集めましょう
商工新聞は経営のヒント・気づきの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう